

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成26年1月14日

【四半期会計期間】 第6期第1四半期(自平成25年9月1日至平成25年11月30日)

【会社名】 ウエルシアホールディングス株式会社

【英訳名】 WELCIA HOLDINGS CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 高田 隆右

【本店の所在の場所】 東京都千代田区神田須田町一丁目9番地

【電話番号】 03-5207-5878(代表)

【事務連絡者氏名】 専務取締役兼執行役員グループ経営管理本部長 佐藤 範正

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区神田須田町一丁目9番地

【電話番号】 03-5207-5878(代表)

【事務連絡者氏名】 専務取締役兼執行役員グループ経営管理本部長 佐藤 範正

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第5期 第1四半期 連結累計期間	第6期 第1四半期 連結累計期間	第5期
会計期間	自 平成24年9月1日 至 平成24年11月30日	自 平成25年9月1日 至 平成25年11月30日	自 平成24年9月1日 至 平成25年8月31日
売上高 (百万円)	78,448	85,037	334,393
経常利益 (百万円)	2,517	3,355	13,811
四半期(当期)純利益 (百万円)	1,762	1,825	7,669
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	1,838	1,922	8,053
純資産額 (百万円)	44,370	63,862	50,276
総資産額 (百万円)	123,838	154,323	139,399
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	95.01	97.03	413.37
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	34.6	40.1	34.7

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 平成25年11月21日付で公募増資により普通株式1,600,000株及び第三者割当増資により普通株式757,000株を発行しております。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、金融政策をはじめとする経済政策の効果と期待から、円高水準の是正や株式市場の好調を受け緩やかな景気回復が見られました。しかしながら、不透明な海外の経済情勢や本年4月から実施される消費税の増税等により、消費者の生活防衛意識は今後も継続すると予想されます。

当社グループが属しておりますドラッグストア業界におきましては、異業種参入、業務・資本提携やM&A等の生き残りをかけた業界再編の動きが一段と加速する中、出店競争や価格競争の激化はもとより、ネット販売の解禁による医薬品販売等の規制緩和により、業界を取り巻く環境は一段と厳しい状況となっております。

このような状況下におきまして、当社グループは「ドラッグ&調剤」及び「化粧品のカウンセリング販売」を中心とするビジネスモデルの推進に注力するとともに、お客様のニーズに対応する商品戦略の推進、販促施策の強化及び販売管理費等のコスト削減に取り組んでまいりました。その結果、当第1四半期連結累計期間においては、大型台風や長雨等の天候不順の影響は一部にあるものの調剤部門が牽引し、既存店も好調に推移をいたしました。

また、出店エリアの拡大とドミナント化に取り組むなど、積極的な出店によりグループ全体で新規に25店舗の出店及び11店舗の閉店を行なった結果、当第1四半期連結累計期間末の当社グループの店舗数は888店舗となりました。

(単位：店)

	前期末店舗数 (平成25年8月31日)	出店数	閉店数	第1四半期末店舗数 (平成25年11月30日)
ウエルシア関東 (内、調剤取扱店) (内、深夜営業店)	643 (451) (538)	18	8	653 (470) (547)
高田薬局 (内、調剤取扱店) (内、深夜営業店)	142 (75) (76)	2	2	142 (78) (79)
ウエルシア関西 (内、調剤取扱店) (内、深夜営業店)	89 (33) (63)	5	1	93 (36) (66)
合計 (内、調剤取扱店) (内、深夜営業店)	874 (559) (677)	25	11	888 (584) (692)

また、品目別売上高は、下記の通りとなっております。

区分	金額（百万円）	前年同四半期比(%)
医薬品・衛生介護品・ベビー用品・健康食品	19,446	105.3
調剤	10,082	120.2
化粧品	15,053	102.9
家庭用雑貨	12,503	109.9
食品	20,114	108.3
その他	7,836	112.0
合計	85,037	108.4

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は85,037百万円（前年同四半期比8.4%増）、営業利益3,229百万円（同37.8%増）、経常利益3,355百万円（同33.3%増）、四半期純利益1,825百万円（同3.6%増）となりました。

(2) 財政状態の分析

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して14,923百万円増加し、154,323百万円となりました。これは主に、現金及び預金が6,668百万円、商品が5,741百万円及び有形固定資産が2,896百万円増加したことによるものです。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比較して1,337百万円増加し、90,460百万円となりました。これは主に、買掛金が4,230百万円増加したものの、未払法人税等が2,095百万円減少したことによるものです。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して13,586百万円増加し、63,862百万円となりました。これは主に、剰余金の配当556百万円による減少があったものの、公募増資及び第三者割当増資により資本金及び資本準備金がそれぞれ6,121百万円増加したことに加え、四半期純利益1,825百万円を計上したことによるものです。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	61,868,400
計	61,868,400

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年11月30日)	提出日現在発行数(株) (平成26年1月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	20,931,343	21,171,343	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株 であります。
計	20,931,343	21,171,343	-	-

(注) 平成25年12月11日を払込期日とする第三者割当による増資(オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資)により、発行済株式総数が240,000株増加しております。

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成25年11月21日 (注) 1	1,600,000	20,174,343	4,098	5,098	4,098	4,348
平成25年11月21日 (注) 2	757,000	20,931,343	2,022	7,121	2,022	6,371

(注) 1. 公募による新株式発行（一般募集）

発行価格 5,344円
発行価額 5,123.60円
資本組入額 2,561.80円

2. 第三者割当

発行価格 5,344円
資本組入額 2,672円
割当先 イオン株式会社

3. 平成25年12月11日を払込期日とするオーバーアロットメントによる当社株式の売出しに関する第三者割当増資による新株式の発行により、発行済株式総数が240,000株、資本金及び資本準備金がそれぞれ614百万円増加しております。

発行価格 5,123.60円
資本組入額 2,561.80円
割当先 野村證券株式会社

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年8月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	(自己保有株式) 普通株式 20,500	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 18,454,100	184,541	-
単元未満株式	普通株式 99,743	-	-
発行済株式総数	18,574,343	-	-
総株主の議決権	-	184,541	-

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式55株、自己保有株式68株が含まれておりません。

【自己株式等】

平成25年8月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数 の合計(株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合 (%)
(自己保有株式) ウエルシアホール ディングス株式会社	東京都千代田区神田須田町 1丁目9番地	20,500	-	20,500	0.11
計	-	20,500	-	20,500	0.11

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年9月1日から平成25年11月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年9月1日から平成25年11月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,343	25,011
売掛金	8,283	8,820
商品	33,477	39,219
その他	4,188	3,614
貸倒引当金	1	1
流動資産合計	64,291	76,663
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	26,333	28,545
土地	8,037	8,605
リース資産(純額)	10,162	10,734
その他(純額)	2,642	2,185
有形固定資産合計	47,175	50,071
無形固定資産		
のれん	7,857	7,590
その他	1,843	1,878
無形固定資産合計	9,700	9,469
投資その他の資産		
差入保証金	13,977	13,899
その他	4,283	4,247
貸倒引当金	28	28
投資その他の資産合計	18,232	18,118
固定資産合計	75,108	77,660
資産合計	139,399	154,323

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	51,622	55,852
短期借入金	6,487	6,543
未払金	3,666	2,907
未払法人税等	3,053	957
賞与引当金	427	356
ポイント引当金	71	71
その他	5,882	5,855
流動負債合計	71,211	72,545
固定負債		
長期借入金	7,838	7,451
退職給付引当金	769	841
役員退職慰労引当金	1,429	-
資産除去債務	2,162	2,256
その他	5,712	7,366
固定負債合計	17,912	17,915
負債合計	89,123	90,460
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	7,121
資本剰余金	17,932	24,054
利益剰余金	29,417	30,686
自己株式	41	41
株主資本合計	48,308	61,820
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	63	65
為替換算調整勘定	3	4
その他の包括利益累計額合計	67	69
少数株主持分	1,900	1,972
純資産合計	50,276	63,862
負債純資産合計	139,399	154,323

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成24年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成25年11月30日)
売上高	78,448	85,037
売上原価	55,183	59,659
売上総利益	23,265	25,377
販売費及び一般管理費	20,921	22,148
営業利益	2,344	3,229
営業外収益		
受取利息及び配当金	6	6
不動産賃貸料	56	58
協賛金収入	50	68
その他	142	149
営業外収益合計	256	282
営業外費用		
支払利息	50	48
株式交付費	-	64
不動産賃貸原価	25	23
その他	7	20
営業外費用合計	83	156
経常利益	2,517	3,355
特別利益		
段階取得に係る差益	111	-
その他	0	-
特別利益合計	111	-
特別損失		
固定資産除却損	37	4
減損損失	2	-
役員退職慰労金	-	122
その他	7	-
特別損失合計	46	127
税金等調整前四半期純利益	2,582	3,228
法人税、住民税及び事業税	973	950
法人税等調整額	215	357
法人税等合計	758	1,307
少数株主損益調整前四半期純利益	1,823	1,920
少数株主利益	60	95
四半期純利益	1,762	1,825

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成24年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成25年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,823	1,920
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14	1
持分法適用会社に対する持分相当額	-	1
その他の包括利益合計	14	2
四半期包括利益	1,838	1,922
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,777	1,828
少数株主に係る四半期包括利益	60	94

【注記事項】

(会計方針の変更等)

該当事項はありません。

(追加情報)

当第1四半期連結累計期間
(自 平成25年9月1日 至 平成25年11月30日)

(役員退職慰労金制度の廃止)

当社及び連結子会社は、平成25年11月開催の定時株主総会において、役員退職慰労金制度廃止に伴う打ち切り支給を決議いたしました。

これに伴い、「役員退職慰労引当金」を取崩し、打ち切り支給額の未払分1,453百万円を長期未払金として固定負債の「その他」に含めて表示しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年9月1日 至 平成24年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年9月1日 至 平成25年11月30日)
減価償却費	1,164百万円	1,309百万円
のれんの償却額	351百万円	347百万円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年9月1日至平成24年11月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年10月22日 取締役会	普通株式	461	25.00	平成24年8月31日	平成24年11月12日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年9月1日至平成25年11月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年10月22日 取締役会	普通株式	556	30.00	平成25年8月31日	平成25年11月11日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動に関する事項

当社は、平成25年11月21日を払込期日とする公募による新株式発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ4,098百万円増加しております。また、同日を払込期日とする第三者割当による新株式発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ2,022百万円増加しております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間において資本金が6,121百万円、資本準備金が6,121百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において資本金が7,121百万円、資本剰余金が24,054百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、医薬品・調剤・化粧品等を中心とした小売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成24年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成25年11月30日)
1株当たり四半期純利益金額	95円01銭	97円03銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	1,762	1,825
普通株主に帰属しない金額	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	1,762	1,825
普通株式の期中平均株式数(千株)	18,554	18,812

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

当社は、平成25年11月6日開催の取締役会において、オーバーアロットメントによる売出しに関連して行う第三者割当による新株式の発行を決議しております。平成25年12月11日に払込は完了しており、概要は次の通りであります。

1. 発行株式の種類及び数

当社普通株式 240,000株

2. 払込金額

1株につき5,123.60円

3. 払込金額の総額

1,229百万円

4. 増加する資本金及び資本剰余金の額

増加する資本金の額 614百万円

増加する資本剰余金の額 614百万円

5. 割当先

野村證券株式会社

6. 払込期日

平成25年12月11日

7. 資金の用途

当社連結子会社でありますウエルシア関東(株)、(株)高田薬局及びウエルシア関西(株)への投融資資金に充当する予定であります。

2 【その他】

平成25年10月22日開催の取締役会において、平成25年8月31日の株主名簿に記録された株主に対して、次のとおり期末配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	556百万円
1株当たりの金額	30円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成25年11月11日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年 1月14日

ウエルシアホールディングス株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	岸	洋平
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	野口	和弘
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	有川	勉

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているウエルシアホールディングス株式会社の平成25年9月1日から平成26年8月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成25年9月1日から平成25年11月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年9月1日から平成25年11月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ウエルシアホールディングス株式会社及び連結子会社の平成25年11月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。